

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2002-529543(P2002-529543A)

【公表日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2000-580047(P2000-580047)

【国際特許分類】

<i>C 08 L 101/06</i>	(2006.01)
<i>B 01 J 19/12</i>	(2006.01)
<i>C 08 K 5/00</i>	(2006.01)
<i>C 08 L 39/04</i>	(2006.01)
<i>C 12 N 11/08</i>	(2006.01)
<i>G 03 F 7/038</i>	(2006.01)

【F I】

<i>C 08 L 101/06</i>	
<i>B 01 J 19/12</i>	C
<i>C 08 K 5/00</i>	
<i>C 08 L 39/04</i>	
<i>C 12 N 11/08</i>	
<i>G 03 F 7/038</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月7日(2006.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 a) 1~99重量部の少なくとも1つのアズラクトン官能性モノマーと、0~99部の少なくとも1つのコモノマーとから誘導される少なくとも1つの共重合体、および

b) 少なくとも1つの光架橋剤を含む光硬化性および光パリナブル組成物であって、前記組成物が生体分子-アズラクトン結合を含有しない場合、光架橋剤上に存在するアズラクトン反応性官能基の数が、前記組成物中に存在するアズラクトン官能基の数よりも少ない組成物。

【請求項2】 請求項1の組成物を含むヒドロゲルを含む製品であって、前記組成物が光硬化され、前記ヒドロゲルが基材に結合する製品。

【請求項3】 前記ヒドロゲルが前記基材にそれぞれが結合する離散したゾーンに別れ、前記離散したゾーンの1つから選択された特徴および前記離散したゾーン間の間隙が、前記ヒドロゲル層の平面において200μm未満の最小の寸法を有する請求項2に記載の製品。

【請求項4】 アズラクトン官能基の残基に共有結合した生物活性分子をさらに含む請求項1に記載の組成物。

【請求項5】 前記ヒドロゲルのアズラクトン官能基の残基に共有結合した生物活性分子をさらに含む、請求項2または請求項3に記載の製品。

【請求項6】 前記ヒドロゲルの異なる離散したゾーン内のアズラクトン官能基の残基に共有結合した異なる生物活性分子をさらに含む、請求項3に記載の製品。

【請求項7】 a) 請求項1に記載の光硬化性組成物の層を基材に適用するステップ

と、

b) 前記層の少なくとも一部が硬化するように前記層を電磁線で照射するステップと、
を含む製品を製造する方法。

【請求項 8】 前記ヒドロゲルのアズラクトン官能基との反応によって、生物活性分
子を前記製品の一部に固定するステップをさらに含む請求項 7 に記載の方法。